

連合千葉議員団会議会長 千葉市議会議員 佐々木久昭



## 自治研センター5周年を機に飛躍を

市民・研究者・議員・労働組合・自治体職員等が共同して“千葉県の地方自治に関する様々な課題について研究し情報発信する”ことを目的に、衆望を担って2009年12月「千葉県地方自治研究センター」が結成されてから早や5年を迎えようとしています。今まさに“千葉県を代表する地方自治研究機関”として堂々たる充実した役割を果たしておられますことを誠にもって誇らしく存じご同慶にたえません。

これも、ひとえに初代理事長 故 井下田猛先生、現理事長 宮崎伸光先生をはじめとする役員、会員の皆様ならびに各界各分野関係者皆様のご尽力、ご協力の賜物と心から敬意を表します。

私たち連合千葉議員団会議も、その趣意に賛同して結成当初より数多くの構成員が参画・加入させて頂き、さらに当方主催「研修会等への講師派遣」ならびに「県地域医療問題等に関する共同研究事業委託」など、多面に亘るご指導、ご支援を賜ってきたところがございますが、今後「福祉・防災・地域活性化等をテーマとした本格的調査研究事業推進にあたっての共同研究委託先」としても多大なるご指導、ご協力を賜ることとなり、大変心強く存じております。

また、本年5月には、広く県内地方議員を対象とする「自治体政策フォーラム」を開催され、“難題が山積する自治体政策分析と地方財政分析”をテーマに、誠にもって有意義な研鑽の場を提供されるなど、今後の千葉県自治発展に向けても、かけがえのないシンクタンクとしての役割、貢献を果たしておられることを実感させて頂いたところでもございます。

私たち議員団会議も、1990年に連合千葉の皆様と時を同じくして結成してから25年目を迎え、現在、国会・県会・市町議会議員等96名による会員、県内市町長22名により特別会員をもって、常に連合千葉が掲げる政策制度諸課題実現を期して、共に諸活動を推進していますが、さらにこの間、最も重視してきた活動として会員自らの資質を高めるための研修活動があり、今後とも身近に自治研センター様のご指導を頂けることを大変心強く存じております。あらためて、自治研センター様の栄えある結成5周年をお祝い申し上げ、今後益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、引き続きご指導を賜りますようお願い致します。

## 二元代表制発揮を期し真の議会改革を

さて、ご承知の通り、我が国の明治維新、戦後改革に次ぐ第3の改革「地方分権改革」が、その端を発してから早

や20年の節目を迎えようとしておりますが、本格的には未だ道半ば、今後、それへの取り組みが促進してその本格的機能が発揮され、真に充実した国家・地方・地域形成が図られ、国民生活・県民生活向上に反映できることを願わずにはられません。もとより、私たち地方自治体を支える地方議員としても、それに向けたより充実した「議会」の理想像を描きつつ改革を断行して、その大事な役割を担っていかねばと考えます。

申し上げるまでもなく、地方公共団体は、首長と議会の議員が住民の直接選挙により選ばれる二元代表制が採用され、長と合議制の機関である議会がお互いに牽制・抑制・調和の中において、執行権限を有する長と議決権限を有する議会が各々の役割を適切に果たすことが求められています。また、特に議会の役割として多様な住民の意見を的確に把握・集約し、議会に反映するとともに、政策形成機能を果たすことも強く求められているところです。

しかしながら地方自治法が施行されてから60年以上が経過した今日において、これら議会の役割が十分に果たし切れているとは言い難い状況にあり、“強い首長と弱い議員”との機能イメージ較差や、昨今の相次ぐ不祥事等も重なり、住民の民主主義の根本たる地方議会の存在意義そのものに対する信頼が揺らぐ深刻な状況にあるともいえます。

先般8月に、毎年開催される全国の地方議員を対象とした「全国市議会議長会政策フォーラム」に参加致しましたが、まさにその議論の中心は“二元代表制発揮を期した真の議会改革”の具体策模索であり、真剣な意見交換のもと引き続き「地方分権時代における議事機関としての議会の役割を果たすべく議会のあり方について抜本的調査・研究を行ない、さらに議会が抱える具体的な諸課題に対し、理論上の観点からの調査研究にとどまらず、実務上の観点から議会としてなすべき方策を調査・検討していく。」との意思確認を行なったところです。

今後検討していく「議会改革」の視点・論点としても、「議会制度・議会運営方法・自治立法のあり方・行政統制強化・議会議員の意識改革」など多岐に亘りますが、既に県内議会においては、「議会のあり方検討委員会」の設置や「議会基本条例」等の制度制定など、先進取り組み事例も多々あるなか、当自治研センターが受け皿となって、首長、議会議員代表等を一堂に会しての「二元代表制」フォーラムなどを企画し、その内容を全国に発信していく試みを行なってはと望むところです。

結びに、郷土千葉県の発展と、630万県民のご健勝ご多幸をお祈り致します。